

消防団員ら安心安全の誓い新たに 令和8年小林市消防出初式

1月11日、新春恒例の消防出初式が開催され、消防団員などが防火や防災への決意を新たにしました。出初め式は、1年の初めに消防団員の士気を高めようといわれる伝統行事で、当日は消防団員や地域住民など約250人が参加。式典では消防功労者への表彰などが行われ、長年消防活動に尽力した延べ75人に表彰状が手渡されました。



市消防団の芝原靖彦団長は「今後も485名の団員とともに、いつ来るかわからない災害に、立ち向かっていく所存」と決意を新たにしました

高校生の体育・文化活動に役立てて

12月18日、市区長会が市内の3高校（小林高・小林秀峰高・小林西高）を訪問し、寄付を行いました。橋ノ口孝一会長は「区・組世帯の協力によるもの。頑張ってる子どもたちのため、体育・文化部の活動や強化育成に役立ててほしい」と話していました。



新春の須木でつきたて餅に舌鼓

1月11日、すきむらんどで「新春もちつきフェスタ」が開かれました。つきたて餅の振る舞いや須木栗のつかみ取り、ワークショップ、子ども縁日などの催しに多くの家族連れが来場。会場は新春の味覚や体験を楽しむ参加者の笑顔と活気に包まれました。



【表彰者（氏名のみ・敬称略）】

■**県知事表彰** 石崎総司、松田健作、濱村良二、有木洋介、黒木幹大、池井秀行 ■**県知事感謝状** 辛島由香 ■**市長表彰** 高妻司、大畑省二、神谷久、肥田木健太、川嶋貴博 ■**（公財）県消防協会長表彰（功績賞）** 高尾輝昭、西郷京太、村社輝彦、井上淳也 ■**（公財）県消防協会長表彰（精績賞）** 中村大介、小原純一、古賀勇一、玉田啓祐、永井博文、横山責也、堂園健吾、迫田隼人、川俣幸治、川野淳悟 ■**家族協力者表彰** 河野美由紀 ■**県消防協会西諸支部長表彰** 見越豊、橋元裕士、堤田春一郎、森清文、安藤翔太、安藤亮馬、永久井翔、海江田祥一、石川秀太郎、齋藤禎、佐藤祐一、谷山健一郎、川野浩幸、黒木誠志 ■**市消防団長表彰** 今別府秀一、崎山翔太郎、松田将和、後藤貴広、立山光二、田山竜誠、中窪龍平、山内優、富永隆正、富永剛、猿渡拓也、黒木利江、佐土原陽子 ■**勤続章（勤続10年）** 下道竜男、中田浩彰、宇都洋平、ゆきぎひろや、種田祐貴、田中祐平、細田大貴、おおくぼかずき、はしくちしんいち、やまのくちゆうき、ひらいしとしき、こおりやま大久保一樹、橋口伸一、山之口裕紀、平石敏規、郡山しゅうへい、こぼるゆうた、きぼりょう、たなかこうだい、とみながたくま、ちむら脩平、小原勇太、木場亮、田中宏大、富永琢磨、地村ただし、しおはたあきひろ、いいだまさと、こづのきょうへい、きどわらようこ忠士、塩畑明浩、飯田正人、小角恭平、佐土原陽子

手作りロケットに目を輝かせる 東方小学校でロケット教室を開催

12月17日、東方小学校で5・6年生を対象にロケット教室が行われました。これは、ロケット開発を手がける北海道の植松電機と連携する団体、RISEの柴田恵美さんを講師に迎え、1人1つオリジナルのデザインでロケットを作成するもの。児童らは、実際に自分が手がけたロケットが打ち上がると歓声を上げて見上げていました。



永野佑莉くん（6年）は「自分で作ったロケットを飛ばすことができて楽しかった。思ったよりも高く飛んでびっくりした」と笑顔があふれていました

チーズを製造する市内の事業所が 全国大会と世界大会で賞を獲得！

1月7日、市内で酪農と自家製乳製品の製造・販売を手がける有限会社ダイワファーム（大窪和利代表⑥から2番目）と株式会社加藤牧場（加藤教昭代表⑥から2番目）が国内外で開催されたチーズコンテストで受賞したことを市長に報告しました。2人は「受賞できてうれしい。今後も上位を目指して頑張りたい」と意気込みました。



全国大会でダイワファームの青カビチーズ「ヤマンクッパイブルー」が審査委員特別賞。世界大会で加藤牧場のカマンベールチーズがシルバーメダルを獲得

中学生が小林市の未来を考える 小林市未来予想図発表会を実施

12月18日、文化会館で小林市未来予想図発表会が行われました。これは、市内の中学3年生が市独自の授業「こすもす科」で考えた市の魅力や将来を同世代に発表し、郷土愛を深めるもの。発表後は、丸商建設の榎木田大資代表取締役や小林ライオンズクラブの國生眞由美会長などをパネリストに迎え、発表内容について意見を交しました。



発表した細野中学校は、市のアニメやCMを作成しPRを行うなどを提案。西小林中学校は、西諸弁を元にしたまちガチャの作成などを提案しました

市内の小中高生が募金を呼びかけ

12月25日、市役所で市社会福祉協議会と市共同募金委員会が主催する赤い羽根共同募金の街頭募金活動が行われました。ボランティア活動の一環として行われ、市内の小中高生15人が参加。職員や来庁された人に向けて、大きな声で募金を呼びかけました。



新春を駆ける山麓路ロードレース大会

1月3日、第49回新春山麓路ロードレース大会（山麓ランニングクラブ主催）が行われました。北西方の入佐運動公園をスタートする1キロから5キロのコースで実施。市内外から参加した161人は、新年の抱負や目標を胸に、霧島山麓路を駆け抜けました。



ひとりひとりの支援が大きな力に！ フードドライブで広がる支援の輪

1月13日から17日にかけて、県主催の「フードドライブをしてみよう！」プロジェクトが市役所とまちなか松栄でありました。この活動は、家庭で余っている食品や賞味期限が迫っている食品などを集めて、子ども食堂や支援が必要な人に無料提供するもの。幅広い世代の職員や来庁者がお米やインスタント食品などを寄贈しました。



日本の1年間の食品口量は、約472万トン（令和4年度推計値）。1人当たりで計算すると、毎日おにぎり約1個分が捨てられています

市特別職報酬等審議会が答申書を提出

1月13日、市特別職報酬等審議会（税所篤朗会長）が特別職の給料・報酬について、それぞれ引き上げることを盛り込んだ答申書を市長に提出しました。税所会長は「今後も社会情勢に照らし、定期的に検証する必要がある」と話していました。



能登町「寒ぶりまつり」で宮崎牛をPR

冬の日本海で育った「天然能登寒ぶり」を味わう催し、「のと寒ぶりまつり」が1月18日、姉妹都市・石川県能登町で開催されました。祭りには姉妹都市として小林市も参加。「宮崎牛しゃぶしゃぶ」を販売するなどして市の魅力を能登町民らにPRしました。



公教育を面白く「オモロー授業」 教員らが熱弁 多彩な実践を報告

1月12日、教員らが公教育を良くする面白い実践例を紹介する、「オモロー授業発表会」が開かれました。（「絆を結ぶ物語」実行委員会主催）。須木中の中田亜季教諭が英語を通じた異文化交流で自己理解と他者尊重を学ぶ授業について報告したほか、小林高の塚田一久教諭が地域課題を教材化し、生徒が主役となる地方高校の魅力伝えました。



第2部では元校長の工藤勇一さん（東京都）と木村泰子さん（大阪府）を招き、教育に関する講和を実施。約200人の来場者が教育の未来に思いをはせました

細野小児童が育てたお米 20キを 市内の子ども食堂3法人に寄贈

1月16日、細野小学校の5年生が市内で子ども食堂を行う社会福祉協議会と燦燦会、特別養護老人ホームきりしまの園に精米20キを寄贈しました。児童らは、地域貢献のために何かできることはないかと考え、自分たちで企画し実施。燦燦会のお田恭子理事長は「きれいで立派なお米を大切にに使わせていただきます」と笑顔で話しました。



子ども食堂とは、無料または低額で誰でも利用できる場所。栄養のある食事と交流できる場所を提供して、子どもの貧困対策や孤食の解消を目指します

郷土の誇りを胸に健脚を競う 第16回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会

1月12日、第16回県市町村対抗駅伝競走大会が宮崎市のひなた県総合運動公園内を周回する12区間、約33キのコースで開催されました。小林市チームは市郡の部で見事、3位入賞を果たし、2年ぶりに表彰台へ返り咲きました。レースは1区・橋谷選手（西小林小）が2位で発進すると、続く2区・齋藤選手も区間2位の快走を見せ、一時首位に立つ熱戦を展開。中盤以降も6区では西元選手（小林中）が区間賞を獲得するなど、全ての選手が粘り強い走り、上位を守り抜きました。



◆出場選手（★=区間賞）

1区 橋谷 志友 / 2区 齋藤 貴憲 / 3区 加藤 里亜菜
/ 4区 江藤 凱斗 / 5区 河島 椿 / 6区 西元 俊 (★)
/ 7区 鶴留 唯月 / 8区 吉田 笑琉 / 9区 園田 亮介
/ 10区 福田 俊乃介 / 11区 田中 優哉 / 12区 鶴 優希

Photo ①大会には県内全市町村から26チームが参加 / ②区間賞の快走を見せた6区・西元選手 / ③区間2位と健闘した8区・吉田選手 / ④チームの想いをつなぐ9区・園田選手 / ⑤3位でフィニッシュするアンカー・鶴選手



燃え上がる炎に無病息災など願う 市内各地でおねっこ・どんど焼き

正月に飾った門松やしめ縄を焼いて無病息災や厄払いを願う「おねっこ祭り」が1月10日、南地区体育館前の畑で開かれました（南校区まちづくり協議会主催）。畑の中央に設置された、竹を組んで作った高さ約10mのやぐらに点火されると住民らは迫力ある炎に、家族の健康や地域安全を願い、新たな1年への思いを新たにしました。



翌11日には須木・永田地区や細野地区でも「どんど焼き」が開催されるなど、市内各地で燃え上がる炎に今年1年間の無病息災が願われました

火山と共生する歴史を体感 市内5社めぐるバスツアーを開催

1月12日、市と霧島ネイチャーガイドクラブ主催の「こばやし神社めぐりツアー」を開催しました。ツアーは、火山と共に歩んできたこの地域の歴史や自然の恵みを再認識してほしいと企画したもので、市内から15人が参加。参加者はガイドの解説に耳を傾け、霧島山と共にある私たちの暮らしについて、理解を深めていました。



岩戸・熊野・愛宕・稲荷・菅原の5社を訪問。参加者は各神社の由緒や特徴について熱心に質問するなど、地域の文化遺産に触れていました